

## 蒲生干潟周辺の塩分濃度 52

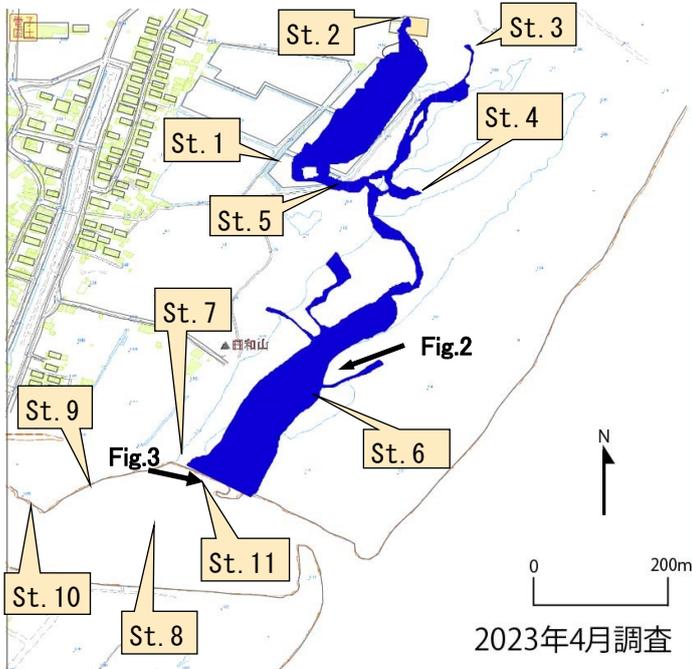


Fig.1 2023/4/12 採水点

Table.1 2023. 4月 塩分濃度(%)

採水点	2023 4/12	2023 3/17	増減	2022 4/13	増減
St. 1	2.6	2.0	0.6	2.1	0.4
St. 2	2.3	0.9	1.4	0.6	1.7
St. 3	2.6	-	-	1.1	1.4
St. 4	2.9	3.3	-0.4	1.7	1.2
St. 5	3.0	2.5	0.5	2.6	0.4
St. 6	3.1	3.1	0.0	3.1	0.0
St. 7	3.2	3.2	0.0	1.5	1.7
St. 8	3.2	3.1	0.1	1.6	1.6
St. 9	3.3	2.9	0.4	1.0	2.3
St. 10	1.5	2.9	-1.4	1.3	0.3
St. 11	3.2	3.0	0.2	2.5	0.7

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 南東部潟湖の様子



Fig.3 St.11付近の様子

調査日時：2023年4月12日（水）10:00～11:30（干潮 13:43 潮位 14cm），天気：曇り

干潮へ向かう時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1～St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。スポイトで表層水層にあたる水深2cm程度から採水し、ATAGO社製ポケット海水濃度計（PAL-06S）を用いて濃度を測定した。同一の採水点で3回採水・測定を行い、その平均値を測定結果とした。それぞれの採水点での結果を、2023.4月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査（2023.3月，2022.4月）結果と比較した。

潟湖の水量は全体的に先月よりも多く、最北端の潟湖（St.3）と南部側の南東潟湖（St.6）のどちらも、多くの水量を保っていた（Fig.2）。また、河口に向けた水の流れがあった（Fig.3）。塩分濃度は、北側潟湖ではSt.4以外の採水点で、先月よりも高い値を示した。南側のSt.6，7では、先月と同じ値を示し安定していた。昨年と比較すると、北側潟湖のすべての採水点（St.1～5）で高い値を示した。特に、北部側西側潟湖のSt.2では、先月，昨年の両方の値よりも1.4ポイント以上高い値を示した。

（沼尾和弥）